

令和5年度 第4回 砂川市立小中学校統合準備委員会 次第

日 時 令和5年10月19日(木) 18:00～

場 所 砂川市役所 2階大会議室

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

- ・合同遠足について
- ・学校間連携事業について

4. 協議事項

- ①義務教育学校の学校名について
- ②義務教育学校の校歌について
- ③スクールバスの運行について

5. その他

6. 閉 会

合同遠足について

【日 時】 令和5年9月8日（金）

【目的地】 北海道子どもの国

【参加者】	砂川小学校	5年	36名	6年	22名	
	豊沼小学校	5年	10名	6年	8名	
	中央小学校	5年	18名	6年	22名	
	北光小学校	5年	8名	6年	7名	
	空知太小学校	5年	18名	6年	18名	合計 167名

学校間連携事業について

○農業体験

【日 時】 令和5年9月19日（火） 10:00～11:30

【場 所】 西豊沼

【内 容】 稲刈り体験

【参加者】	砂川小学校	5年生	35名		
	豊沼小学校	5年生	10名	合計	45名

○外国語活動

【日 時】 令和5年9月21日（木） 10：25～11：10

【場 所】 中央小学校視聴覚室

【内 容】 外国語を活用した活動

【参加者】 中央小学校 5年生 17名
豊沼小学校 5年生 10名
北光小学校 5年生 7名 合計 34名

義務教育学校の校名について

○校名候補の選定について

○公募の結果について

- ・件数 183件（別紙参照）

○候補選定の視点

- ・以下の5つの視点を重視し、3案に選定します。
 - (1) 砂川をイメージできる校名
 - (2) 覚えやすい校名
 - (3) 書きやすい校名
 - (4) 言いやすい校名
 - (5) 親しみや愛着を持てる校名

○応募された学校名の主なもの

- ・5件以上応募のあったもの
 - ①砂川学園（平仮名・アルファベット表記、学円を含む） 18件
 - ②砂川小中学校 16件
 - ③砂川義務教育学校 10件
 - ④砂川学校 5件
 - ⑤砂川小中一貫校 5件
- ・砂川がついているもの
 - ①砂川+学校種（砂川学園、砂川小中学校など）のもの 71件
 - ②砂川+～（砂川みどり学園、すながわ学びの学舎など）のもの 14件
 - ③砂川市立+学校種（砂川市立小中学校など）のもの 14件

○校名候補

- ①
- ②
- ③

義務教育学校の校歌について

令和8年度に義務教育学校が開校するにあたり、新たに校歌をどうするのか検討しなければなりません。検討にあたっては、校歌を新たに作るのか、現在の校歌を利用するのかなどの検討が必要となります。また、校歌を作成する時期について、開校前に作る場合と開校後にプロジェクトとして校歌を作る取り組みを行っている事例もあります。

○校歌の決定に係る検討事項

①校歌を新たに作る場合

- ・作詞はどうか

例・・・生徒が作詞
先生が作詞
専門家に依頼
公募
フレーズを公募 など

- ・作曲はどうか

例・・・生徒が作曲
先生が作曲
専門家に依頼
地元出身（ゆかり）の音楽家に依頼 など

- ・作成の時期はどうか

例・・・開校前に作成
開校後に作成

②現在の校歌を利用する場合

例・・・中学校の校歌をそのまま利用 など

砂川市立小中学校 校 歌

砂川小学校 校 歌

作詞 小田 観瑩
作曲 下総 皖一

一 空知は青き広原に
雪ある山のピンネシリ
ゆるがぬ姿すがすがし
おおその心明けくれに
学びの道のはげまるる

二 石狩川の両分くる
野を拓きたる遠き日よ
みおやのわざはかがやかし
おおそのあとをつぎてゆく
時の刻みは今ひびく

三 歴史は栄ゆる学び舎に
受くる尊き師の教へ
わが身を修め世につくす
おおその望み大空に
きらめく星と思ふべし

豊沼小学校 校 歌

作詞・作曲 上元 芳男

一 ああ花かおる 丘の上
我が豊沼の名をしたい
あした夕べにむつまじく
まなぶ六年の たのしさよ
まごころ こめて
師よ 誓う
「われら明るく正しく」と

二 ああふるさとの 野辺はるか
石狩川はめぐりつつ
大工場のとどろきに
和して 雄々しく
よびかける
高く歌おう
友よ いざ
「望み大きく気高く」と

中央小学校 校 歌

作詞 飯田 広太郎
作曲 千葉 日出城

一 つらなる山の 白い雲
明るい窓に 呼んでいる
大きく伸びよと
気高く育てと 呼んでいる
中央中央 われらの学校

二 広野を遠く めぐり来て
石狩川は 歌ってる
希望に生きよと
たゆまずはげめと 歌ってる
いつもいつも われらと共に

三 風にもまけず 雪の日も
あふれる元気で さあ行こう
しつかと手を取り
足なみそろえて さあ行こう
春は待つよ 光の中に

空知太小学校 校歌

作詞 白山 友正
作曲 林 喬木

一 陽はさし初めし 石狩野
両河の流れ 合うところ
輝き映ゆる 学び舎ぞ
師のみ教えに 胸をはり
我等手をとり 学ばなん

二 陽はくれてゆく ピンネシリ
千古の林 拓かれて
たれ穂豊けき 実り田ぞ
開発の道 究めつつ
我等いそしみ 働かん

三 文化は高き 空知太
日々新しく 立つ庭に
ひびく平和の 歌声ぞ
遠き希望を 語りつつ
我等 健やかに 伸びゆかん

北光小学校 校歌

作詞・作曲 上元 芳男

一 北斗の光 かがやいて
石狩川の 寄るところ
花咲く大地 野のみどり
めぐみ豊かに 拓けゆく
北光 北光 生氣あふれる
ふるさとよ

二 仰げばはるか 山なみは
直く生きよと さし招き
風さわやかに おとずれて
強く育てと 歌いゆく
北光 北光 光にみちる
明けくれよ

三 よき師よき友 たずさえて
学びの窓に いそしめば
楽しなつかし 高らかに
希望の鐘も 鳴りわたる
北光 北光 幸とこしえの
わが母校

砂川中学校 校歌

作詞 北 桂子
作曲 藤本 賢治

一 花薫る 学び舎に
伝えゆく 木々のうた
語り継ぐ 時代の重さに
映る陽が 微かに零れる
今 確かな誓 胸に高鳴る

二 澄み渡る この空に
掠めゆく 風のうた
終わりになき 未来の光に
秘めた夢 心に芽生える
今 確かな力 我を高めん

旧石山中学校 校 歌

作詞・作曲 上元 芳男

一

石山の すそのはるかに
ふるさとの大地は息吹き
空知川 流れゆたかに
若人の 夢奏でゆく
光あり
われら今
このまなびやに
幸多き 三年を育つ

二

星影に えい智をみがき
風雪に からだきたえて
けがれなき 心ひとすじ
とこしえの理想をめざす
のぞみあり
われら今
足なみそろえ
あたらしき未来を拓く

スクールバスの運行について

1 前回までの確認事項

項目	内容	確認
対象者	義務教育学校は、小学生及び中学生が乗車対象となるため、基準を再度検討	

2 本会議の協議事項

項目	内容	確認
対象者	義務教育学校は、小学生及び中学生が乗車対象となるため、基準を再度検討	継続協議

3 検討スケジュール

協議事項	協議時期	
①対象者について	9月～11月	第3～5回委員会
②利用料金、一般利用について	12月～3月	第6回委員会～
③停留所、運行経路について		
④運行回数等の運行内容について		
⑤その他について		

協議事項③ 乗車対象者について

① 乗車対象者の基準について

前回会議にて事務局が提示した基準以外で、【1st ステージで「2 km以上」、2nd 及び3rd ステージで「3 km以上】の案が出たため、内容について整理し、詳細は別紙1のとおり。

※ 前回会議にてご提示した基準案については、参考資料1のとおり

② 乗車対象者数の推計について

現在、案として出ている基準から作成した乗車対象者数の推計については、以下とおり。

	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
前期課程 4km/後期課程 6km	171人	166人	154人	148人	158人	140人	133人	123人	114人	124人	121人
1st 2km/2nd 3km/3rd 4km	286人	286人	281人	281人	273人	261人	250人	239人	224人	236人	230人
前期課程 2km/後期課程 3km	329人	323人	314人	317人	307人	294人	283人	268人	251人	265人	255人
1st 2km/2nd・3rd 3km	296人	296人	289人	292人	274人	263人	252人	240人	225人	238人	232人

③ 夏期・冬期で異なる運行の実施について

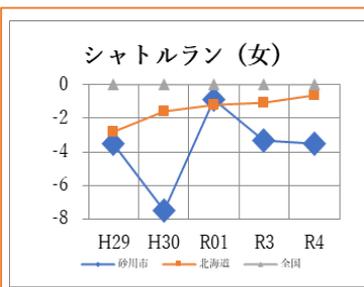
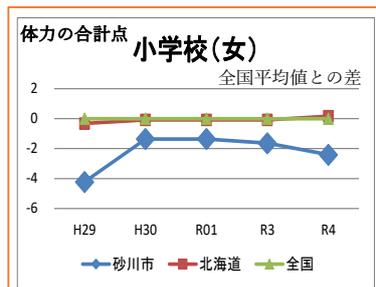
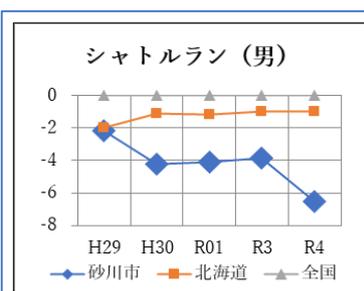
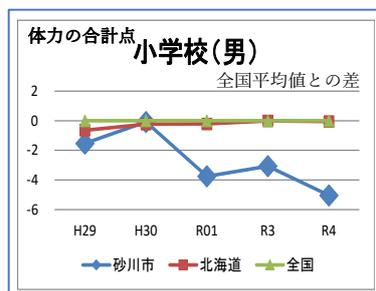
前回会議にて、児童生徒の体力面と安全面について協議いただいた中で、夏期は体力面を考慮し基準を遠距離に、冬期は安全面から近距離に、など時季で運用を変更するようなご意見がございましたが、いくつか懸念事項が考えられ、具体的には、

1. 利用者の煩雑さにつながる（申請行為や利用基準及び運行内容の把握など利用に係る全般）
2. 年間通して使用するバスの台数を購入するため全台数に維持費がかかるが、そのうち一定期間使用しないバスがあると効率的ではないこと

などが考えられ、事務局でも検討を重ねた結果、バスの利用自体は任意であるため、各家庭の判断に委ねることとし、運行は年間一律した運用を行う方向で検討したい。

④ 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

○ 小学生の体力（学校数5校：83名（男子42名、女子41名））

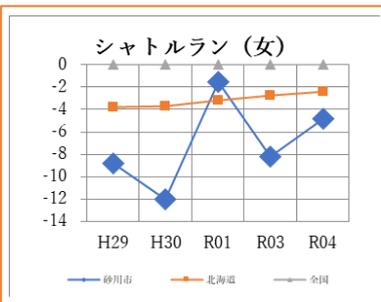
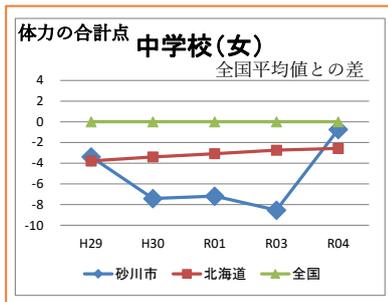
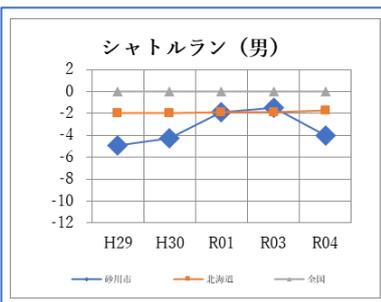
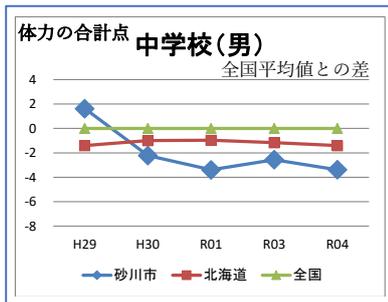


【調査結果分析の抜粋及び考察】

・体力の合計点では、男女とも全国平均を下回っており、特に男子は全国平均との差が大きい。

・持久力が必要となる「シャトルラン」に課題が見られ、持久力を付ける運動などを意図的・計画的に体育の授業などにおいて取り扱っていく必要がある

○ 中学生の体力（学校数2校：109名（男子50名、女子59名））



【調査結果分析の抜粋及び考察】

・体力の合計点では、男子女子ともに H30～R3 まで全国平均を下回り、R4 は女子のみ全国平均と同程度となっている。

・持久力が必要となる「シャトルラン」に課題が見られることから、これらを意識した運動を意図的・計画的に体育の授業などにおいて取り扱っていく必要がある。

体力の合計点について、H29 から R4 を全体的にみると、小学生・中学生ともに全国平均を下回っており、特に持久力を必要とする種目が課題とされているため、毎日の通学が児童生徒の体力に少なからず影響する面もあるのではと考えられる。

⑤ スクールバスの運行に伴う費用について

○ 歳出

・ バスの価格

大型バス（正座 49 人乗り）	1 台あたり約 30,000,000 ～ 40,000,000 円 → 約 35,000,000 円
中型バス（正座 37 人乗り）	1 台あたり約 20,000,000 ～ 30,000,000 円 → 約 25,000,000 円
小型バス（正座 22 人乗り）	1 台あたり約 10,000,000 ～ 20,000,000 円 → 約 15,000,000 円

・ 運行委託料

1 台あたり年間 約 5,500,000 円

・ 中学校で運行するバスの規格で運行を仮定した場合の必要台数と費用

基準を前期課程 2 km、後期課程 3 km 以上(331 人)とし、人数と経路考慮すると **中型バス 10 台**が必要

① 購入費 中型バス 7 台(既存 3 台除く) × 25,000,000 円 = **175,000,000 円**

② 運行委託料 5,500,000 円 × 10 台 = **55,000,000 円 (年)**

○ 歳入

・ へき地児童生徒援助費等補助金（スクールバス購入費）

1 台あたり **3,750,000 円 (R4 実績)**